

歯と口腔の健康づくり事業について (県)

妊産婦期・乳幼児期

テーマ：乳歯むし歯の予防，口腔清掃の習慣づけ

- 妊産婦期から乳幼児期にわたる定期的な歯科健康診査体制の推進
- 母子保健や子育て支援に従事する者の資質の向上
- フッ化物応用等による効果的な歯科口腔保健対策の普及

- 乳幼児の発育段階を踏まえた歯と口腔の健康づくりに関する普及啓発の推進
- 子育て支援に従事する関係機関の連携づくりの推進

事業名	担当課	事業内容	平成27年度事業実績	平成28年度事業計画
妊娠期における歯科保健対策事業	健康推進課	市町村が実施するマタニティ教室や集団での母子健康手帳交付，一般社団法人宮城県助産師会が主催する「じょさんしフェスタ」等の場を活用し，歯科医師及び歯科衛生士による妊婦への講話，歯科健診，歯科保健指導を実施する。	<じょさんしフェスタ> (1回89組：208名) <市町村>1市1町で各1回(31名) 【宮城県歯科医師会へ委託】	実施
乳幼児むし歯予防総合教室	健康推進課	子育て世代の親睦の機会・場所を設け，その中で乳幼児の歯と口腔の健康管理に関する相談や情報提供，ケアの実演等を実施する。	・1町 21名 【宮城県歯科衛生士会へ委託】	
フッ化物洗口導入モデル事業	健康推進課	市町村が実行可能なフッ化物を利用した幼児歯科保健対策の事業モデルを提供するもの。 マニュアル・チラシの整備，市町村職員等の研修，施設職員の研修等に係る技術的支援，保護者説明会に係る技術的支援，経費の補助，その他必要な助言指導を行う。	・モデル事業実施市町村 2市2町(岩沼市，大崎市，村田町，女川町) ・市町村における保護者・施設職員研修会等の実施 (3市(白石市，岩沼市，大崎市)：337名) ・幼児歯科保健関係者講習会等 (2施設：137名)	◆モデル事業導入3市1町の取組(各説明会，導入経費)の支援 ◆フッ化物洗口未実施市町村への啓発等 ・フッ化物洗口の普及啓発に向けた活動(打合せ，説明会等)の実施 ・歯科保健事業に関する意向調査等を通じた動向把握
幼児歯科保健関係者研修会	健康推進課	母子保健・子育て支援に従事する者(保育士，幼稚園教諭，保育所，幼稚園の施設長，市町村歯科保健担当者及び母子保健担当者，保健所歯科保健担当者等)の歯と口腔の健康づくりに関する知識や技術の向上を図り，幼児のむし歯の本数の減少と地域間格差の是正を図るもの。 むし歯の予防や健全な歯列・咬合を保つため，効果的な保健指導の実施方法等に関する研修会の実施，各施設や市町村の取組状況等に関する情報交換，県内外の先進的な取組事例の紹介による情報の共有を図る。	・幼稚園，保育所，こども園職員，歯科医師，歯科衛生士，市町村母子保健・歯科保健担当者，保健所歯科保健担当者等を対象とした研修会を実施(1回：87名) ・幼児歯科保健関係者(国公立幼稚園長，市立幼稚園教諭等)を対象とした講習会を実施(2回：137名) 【再掲】	実施
歯つらつファミリーコンクール	健康推進課	コンクールにおける表彰 【宮城県歯科医師会と共催】	・知事表彰 親と子の部2組，ファミリーの部3組	実施
幼児に関する歯科保健行動調査	健康推進課	幼児の歯と口腔の健康状況を把握するため，県内各市区町村の協力を得て，3歳児健康診査時に自記式質問紙調査を実施する。	・市町村が実施する3歳児健康診査時に自記式質問紙調査を実施	

学童期・思春期

テーマ：永久歯むし歯と歯肉炎の予防

○生涯にわたり実践に生かせる歯科口腔保健教育、歯科口腔保健活動の推進

○歯科口腔保健活動のための学校及び地域の連携の推進

事業名	担当課	事業内容	平成27年度事業実績	平成28年度事業計画
小・中学生体験歯みがき教室	健康推進課	県内の小・中学校の児童、生徒を対象としてブラッシング指導をはじめ、口腔内カメラ、顕微鏡、ビデオ上映等を活用した健康教育を実施する。	・2回 145名 【宮城県歯科医師会へ委託】	
教育教材作成事業	健康推進課	教員・養護教諭等が学校現場で児童生徒等に歯と口腔に関する正しい知識を教示するための教育ツール（パワーポイントのスライドを収録したCD-ROMとスライド内容を説明した解説書）の作成と配付。	・学校歯科保健教育ツールの検討及び作成作業に対する教育教材作成委員会の開催 5回 ・教材名：みやぎっ子の楽しく学ぶ『生きる力』をはぐくむ歯・口の健康づくり教育教材 ・内容： 1 食べる機能との発達 2 食べ方と食べ物 3 食習慣（生活習慣） 4 その他 ・部数：700部 特別支援学校を含む県内小・中学校等 【宮城県歯科医師会へ委託】	
教育教材活用講習会	健康推進課	歯科口腔保健教材の使用方法について、各学校への普及活動を行う。		実施
児童生徒定期健康診断事業	スポーツ健康課	県立学校において、法令に基づく定期健康診断を実施し、学校生活が円滑に行われるよう適切な保健管理、保健指導を図る。	・定期健康診断の実施 ・適切な保健管理、保健指導	・定期健康診断の実施 ・適切な保健管理、保健指導
学校保健研修事業	スポーツ健康課	学校における歯科保健指導の推進や教職員の資質向上を図ることを目的とした研修	・2回 170名	養護教諭経験者研修会で実施予定
学校・地域保健連携推進事業	スポーツ健康課	○学校保健課題解決 県内7教育事務所と県の8ブロックで各地域の健康課題について協議し、課題解決のための研修会等を実施する。 ○専門家派遣 各学校の希望に応じ専門家を派遣し、学校保健の推進を図る。	○学校保健課題解決 県協議会2回、県研修会1回 各ブロック連絡協議会2回、各ブロック研修会1回 ○専門家派遣 派遣件数60件	左記事業内容を継続
生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業	スポーツ健康課	推進指定校において、学校・家庭・地域社会が連携して、子どもの生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくりに取り組む。【平成28年度までの2ヶ年事業】	・推進指定校1校	実施（継続）
宮城県児童生徒の健康実態調査（3年毎実施）	スポーツ健康課	児童生徒の健全な育成と学校保健教育の推進を図るため、児童生徒の歯と口腔の現状把握を行い、調査結果について分析評価するもの。	児童生徒の健康に関するアンケート調査の中で、歯みがきの個別指導やフッ化物配合歯みがき剤の使用割合について調査するもの。	・県学校保健会の協力による健康実態調査の経年分析

青年期・壮年期

テーマ：歯周疾患の予防と口腔清掃の徹底（青年期）、歯周疾患対策と歯の喪失予防の推進（壮年期）

- 成人を対象とした歯科健康診査の機会の確保とその推進
- 地域保健と職域保健との連携による支援体制づくり
- かかりつけ歯科医をもつことの推進

- 歯周疾患予防に効果的な方法の普及啓発の推進
- 成人の歯と口腔の実態把握及び歯と口腔の健康が維持できる体制の構築

事業名	担当課	事業内容	平成27年度事業実績	平成28年度事業計画
健康手帳の交付	健康推進課	市町村が作成する健康手帳に要する費用の一部に対し補助する。 (仙台市除く)	・12市町	実施（健康増進事業）
歯周疾患検診等の実施	健康推進課	市町村が実施する歯周疾患検診の費用の一部に対し補助する。 (仙台市除く)	・28市町	実施（健康増進事業）
歯の健康相談、健康教育の実施	健康推進課	市町村が実施する健康相談・健康教育の費用の一部に対し補助する。 (仙台市除く)	・34市町村	実施（健康増進事業）
職域に対する普及啓発事業	健康推進課	関係機関と協力し、研修等の機会を捉えて、歯科保健対策の必要性等の普及啓発を行い、職場における歯科保健健診の実施率向上を図る。	・被用者保健を運営する団体等が企画運営する研修会において講演を実施 2回（約260人）	実施
被災者特別健診事業	健康推進課	震災後の生活環境等の変化による健康状態の悪化を早期発見・予防することを目的とし、沿岸15市町村の特定健診・保健指導の対象となっていない18歳以上39歳以下の住民に対し、基本健診・詳細健診・歯周疾患検診・保健指導を実施する市町村に対し必要な経費を補助する。 歯周疾患検診は平成27年度から補助対象とする。	・5市町で実施	実施
職場における歯と口腔の健康づくりに関する取組状況調査	健康推進課	職域における歯科保健対策の実施状況について調査を行い、現状を把握する。	・対象事業所数：357事業所 (公益社団法人宮城労働基準協会所管「宮城衛生管理者の会」入会事業所)	
介護予防に関する事業評価・市町村支援事業	長寿社会政策課	口腔ケアの普及啓発として歯科診療所等にパンフレットを配布する。	パンフレット25,000枚作成・配布(7月・1月)	実施（継続）

高齢期

テーマ：口腔機能の維持・回復，口腔衛生の維持

- 全市町村での歯周疾患検診の実施、受診率の向上
- 施設入所者や通所事業所利用者等の歯と口腔の健康管理の充実

- 介護や介護予防に従事する者への支援体制の構築
- 成人の歯と口腔の実態把握

事業名	担当課	事業内容	平成27年度事業実績	平成28年度事業計画
要介護者の口腔ケア支援者研修事業	健康推進課	ヘルパーや施設職員等を対象に、要介護者の口腔ケアの必要性と方法等に関する研修会を実施する。	・2回（仙台会場1回，塩釜1回：115名） 【宮城県歯科医師会へ委託】	実施
老人福祉施設及び障がい児（者）施設における歯と口腔の健康づくりに関する取組状況調査	健康推進課	県内老人福祉施設及び障がい児（者）施設の入所者の歯と口腔の健康づくりに関する取組み状況を把握する。	・対象数：612事業所（県内老人福祉施設及び障がい児（者）施設等の入所施設	
在宅歯科医療連携室整備事業	健康推進課	住民や在宅歯科医療を受ける者・家族等のニーズに応え、在宅歯科における医科や介護等の他の分野とも連携を図るための相談窓口を設置し、病气や障がい等により在宅で療養している通院が困難な方や介護を受けている方の歯と口腔に関する相談に対処し、地域における在宅歯科医療の推進及び連携体制の構築を図る。	・相談件数 60件（電話相談） うち紹介件数 29件 ・登録医 136機関 ・研修会 34名 【宮城県歯科医師会へ委託】	実施
院内口腔管理体制整備事業	医療整備課	各医療圏で中核的な役割を担う地域医療支援病院，がん診療拠点病院において口腔管理を行う歯科衛生士の配置を支援し，術後における全身の早期回復の促進，がん治療の副作用・合併症の予防や軽減，在院日数の短縮を図る。	・対象医療機関 5	実施
介護予防に関する事業評価・市町村支援事業（再掲）	長寿社会政策課	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施

障がい児（者）

○障がい児（者）の歯と口腔の健康づくりのための地域支援機能の充実・連携の促進
○施設入所者の歯科医療機関による歯と口腔の健康管理の充実

○障がい児（者）が利用できる歯科医療サービスの情報提供の促進

事業名	担当課	事業内容	平成27年度事業実績	平成28年度事業計画
障がい児（者）の口腔ケア研修事業	健康推進課	ヘルパーや施設職員等を対象に、障がい児（者）の口腔ケアの必要性と方法等に関する研修会を実施する。	・1回（石巻会場）81名 【宮城県歯科医師会へ委託】	実施
障がい児（者）施設歯科健診・口腔ケア指導モデル事業	健康推進課	障がい児（者）における歯と口腔の健康状態の改善及び日常の口腔ケアの定着を図るため、障がい児（者）の歯科健診等を通じた実態把握や施設職員への指導・助言を行うとともに、主な障がいの特徴や必要とされる対応を踏まえた歯科口腔保健指導や口腔ケアの実践方法に関するマニュアルを作成する。 ※平成26～28年度までのモデル事業	・歯科健康診査等の従事者等による事業検討会1回 ・歯科健康診査等の従事者等による連絡調整会議1回 ・大崎圏域内の障がい児（者）を対象とした通所の5施設において、歯科健康診査等、歯科健康診査後の歯科保健指導（フォローアップ）の実施 ・歯科健康診査受診者数 114名 【宮城県歯科医師会へ委託】	実施
障がい児親子歯みがき教室	健康推進課	障がい児の歯と口腔の健康状態の改善や、保護者や介助者等に対して日常の口腔ケアや歯科保健指導の推進・定着を図る。	・1施設 23名 【宮城県歯科衛生士会へ委託】	実施
老人福祉施設及び障がい児（者）施設における歯と口腔の健康づくりに関する取組状況調査（再掲）	健康推進課	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	
在宅歯科医療連携室整備事業（再掲）	健康推進課	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施
介護予防に関する事業評価・市町村支援事業（再掲）	長寿社会政策課	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施

食育

○食育の視点を取り入れた歯と口腔の健康づくりの推進

事業名	担当課	事業内容	平成27年度事業実績	平成28年度事業計画
みやぎ食育フォーラム	健康推進課	11月の「みやぎ食育推進月間」に開催するフォーラムの中で、食育と歯科保健の関連性や連携した取り組み等についての講演を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「みやぎ食育フォーラム」の基調講演において、講師 東北大学大学院歯科学研究科小児発達歯科学分野 教授 福本 敏 氏「食べ方から始める子どもの食育」と題した講演会を実施（1回：約300名） 	

フッ化物洗口による歯科保健行動に関する調査について

1 調査目的

フッ化物洗口導入モデル事業を評価するため、本事業を活用してフッ化物洗口を実施した子ども及びその保護者の歯科保健行動の変化を把握し、分析を行うもの。

2 実施主体

宮城県保健福祉部健康推進課

3 協力機関

村田町, 岩沼市, 大崎市, 女川町

4 調査期間

平成28年1月から平成28年3月まで

5 調査対象者

平成27年度にフッ化物洗口導入モデル事業を新たに実施した施設に在籍し、フッ化物洗口を実施している4, 5歳児の保護者325人(村田町1施設35人, 岩沼市3施設53人, 大崎市5施設168人, 女川町2施設69人)

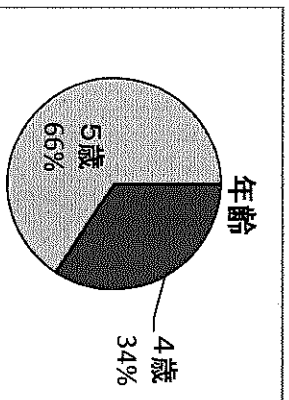
6 調査方法

実施施設において調査対象者に対して自記式調査票を配付して実施した。

7 調査結果(n=272)

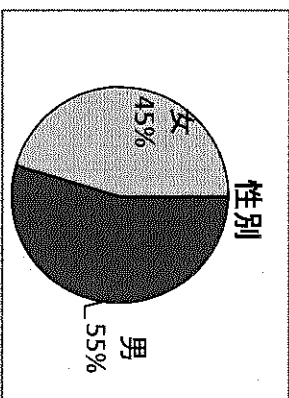
(1) 年齢

4歳	5歳
人数 93	人数 179



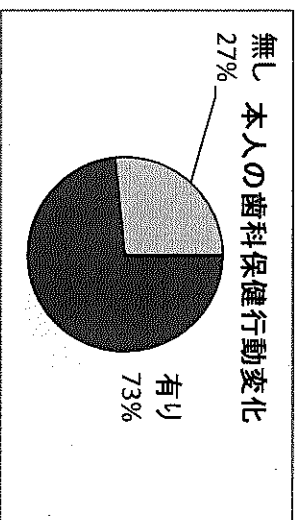
(2) 性別

男	女
人数 148	人数 123



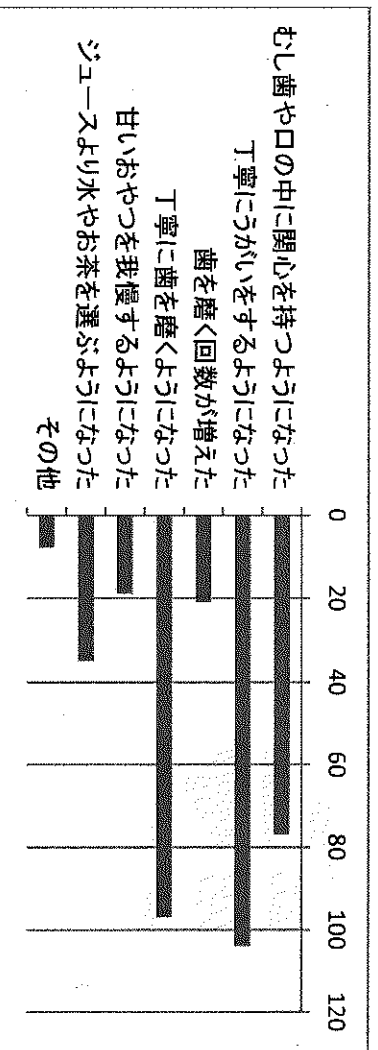
(3) 本人のフッ化物洗口による歯科保健行動の変化

有り	無し
人数 193	人数 70



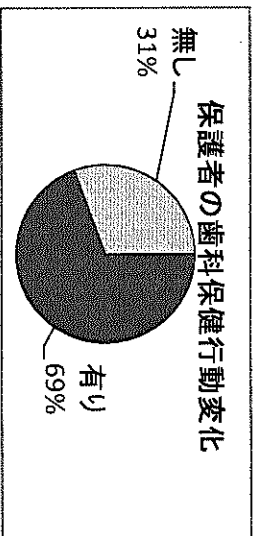
変化の内容(複数回答)

むし歯や口の中に関心を持ったようになった	丁寧なうがいをするようになった	歯を磨く回数が増えた	丁寧に歯を磨くようになった	甘いおやつを我慢するようになった	ジュースやお茶を選ぶようになった	その他
人数 77	人数 104	人数 21	人数 97	人数 19	人数 35	人数 8



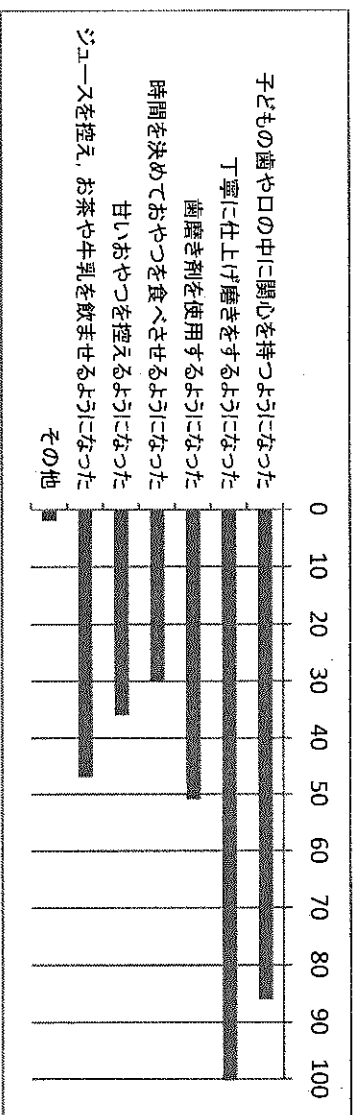
(4) 保護者のフッ化物洗口による歯科保健行動の変化

	有り	無し
人数	188	83



変化の内容(複数回答)

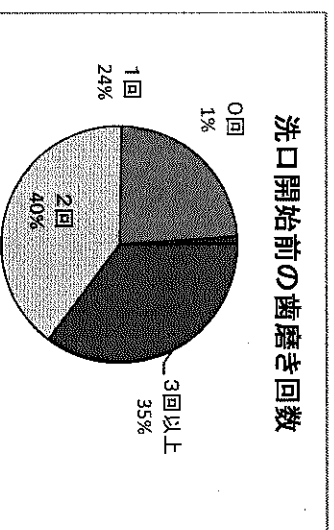
子どもの歯や口の中に関するようになったようになった	丁寧な仕上げ磨きをするようになった	歯磨き剤を使用するようになった	時間を決めておやつを食べさせるようになった	甘いおやつを控えるようになった	ジュースを控え、お茶や牛乳を飲ませるようになった	その他
人数	86	101	51	30	36	47
						2



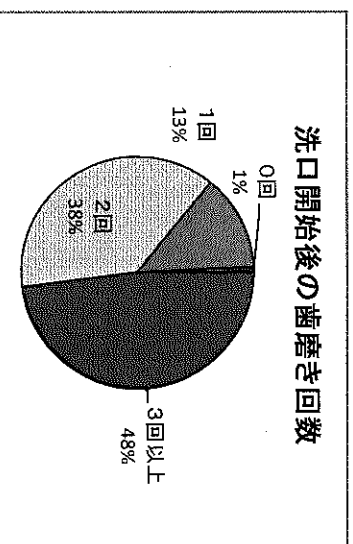
(5) フッ化物洗口開始前後における具体的歯科保健行動

5-1-1 フッ化物洗口開始前の1日の歯磨き回数	3回以上	2回	1回	0回
人数	96	109	64	3
5-1-2 フッ化物洗口開始後の1日の歯磨き回数	3回以上	2回	1回	0回
人数	129	102	36	2
5-1-3 フッ化物洗口開始後の1日の歯磨き回数の変化	もともと良い	改善した	変化なし	悪化した
人数	92	63	111	3

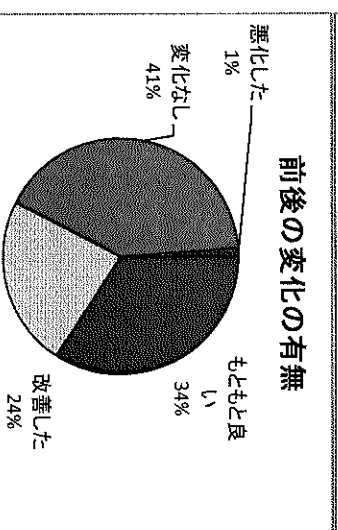
洗口開始前の歯磨き回数



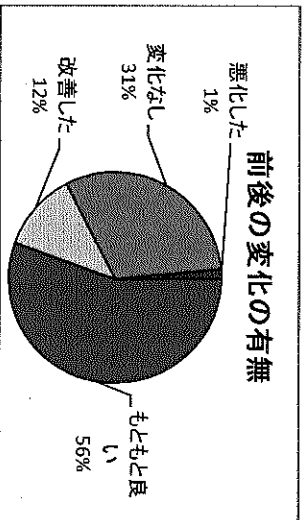
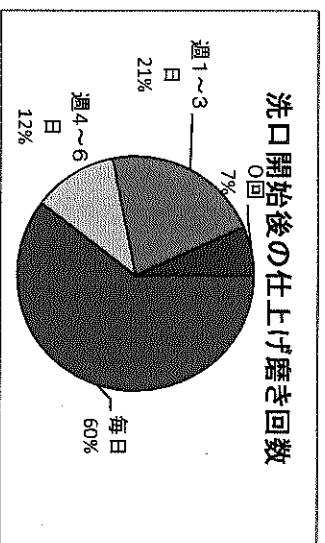
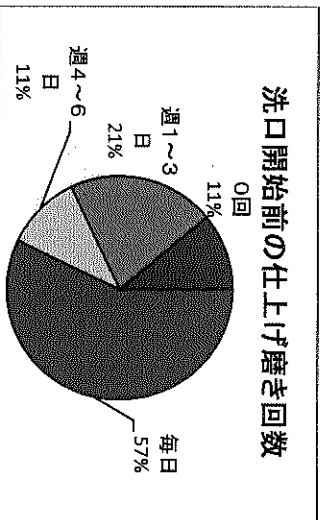
洗口開始後の歯磨き回数



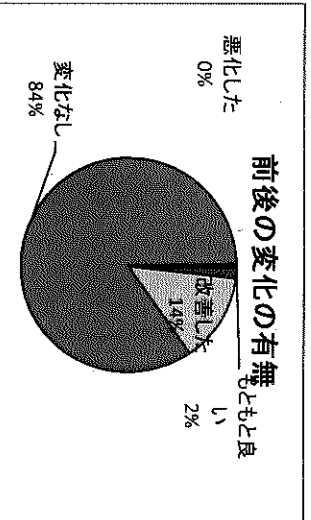
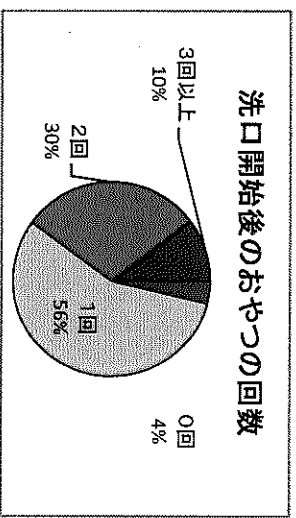
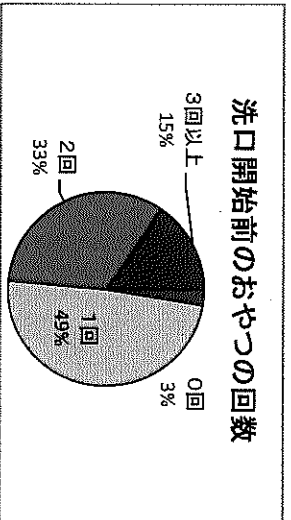
前後の変化の有無



5-2-1	ツツ化物洗口開始前の仕上げ磨き回数	毎日	週4～6日	週1～3日	0回
人数	155	29	57	30	
5-2-2	ツツ化物洗口開始後の仕上げ磨き回数	毎日	週4～6日	週1～3日	0回
人数	163	31	58	18	
5-2-3	ツツ化物洗口開始後の仕上げ磨き回数の変化	もともと良い	改善した	変化なし	悪化した
人数	150	32	84	4	



5-3-1	ツツ化物洗口開始前の家庭でのおやつ(甘味食品・飲料)の回数	0回	1回	2回	3回以上
人数	7	132	89	42	
5-3-2	ツツ化物洗口開始後の家庭でのおやつ(甘味食品・飲料)の回数	0回	1回	2回	3回以上
人数	10	152	80	28	
5-3-3	ツツ化物洗口開始後の家庭でのおやつ(甘味食品・飲料)の回数の変化	もともと良い	改善した	変化なし	悪化した
人数	5	36	226	1	



5-4-1 フッ化物物洗口開始前の歯磨き剤の使用有無

	有り	無し
人数	214	57

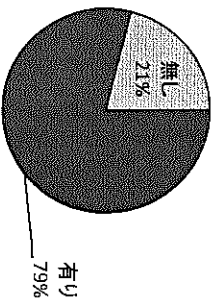
5-4-2 フッ化物物洗口開始後の歯磨き剤の使用有無

	有り	無し
人数	235	36

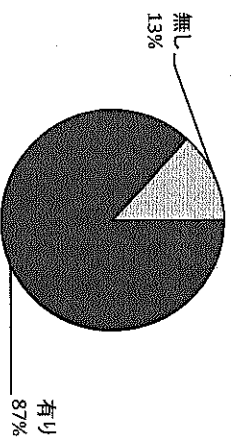
5-4-3 フッ化物物洗口開始後の歯磨き剤の使用有無の変化

	もともと良い	改善した	変化なし	悪化した
人数	207	23	36	1

洗口開始前の歯磨き剤の使用



洗口開始後の歯磨き剤の使用



前後の変化

